

技術トピックス

FSM - 40S補強スリーブ収縮時間の短縮

最近，光ファイバの接続分野においては，接続作業の効率化から，光ファイバ接続部補強スリーブの収縮時間短縮が，多くのユーザから求められている．

従来，単心光ファイバ融着接続機FSM - 40Sでは，小型補強スリーブ（FPS01 - 250 - 20）の収縮に60秒要していた．

この補強スリーブを収縮させる加熱器は，熱伝導体とその中央部に貼り付けられたヒータにより対象となるスリーブを加熱収縮している（図1）．

今回，熱伝導体の形状，ヒータ制御方法の工夫により，対象となる補強スリーブ（FPS01 - 250 - 20）の収縮時間を大幅に短縮し，30秒での収縮が

可能となった．

また，今回の改良により，現在ラインナップされているすべての補強スリーブも短時間で加熱収縮することが可能になった．

特 徴

- 1．小型補強スリーブ（FPS01 - 250 - 20）の収縮時間を60秒から30秒に約50％短縮．
- 2．光ファイバ接続部補強スリーブ（FP - 03）の収縮時間を90秒から60秒に約33％短縮．
- 3．すべての小型補強スリーブに対応．

（光システム事業部精密機器開発部 岩下）



図1 FSM-40S加熱器外観

〔お問い合わせ〕

光システム事業部融着接続機お客様サポートセンタ

TEL 043-481-1851 FAX 043-484-3989

E-mail : splicersales@fujikura.co.jp